安全データシート

Agilent Technologies

Lithium Ion Battery Pack

1. 化学品及び会社情報

この製品は、商品と見なされます。この安全性データシートは、この商品に含まれるカプセル化された物質または混合物に基づいて記述されています。

化学品の名称 : Lithium Ion Battery Pack

部品番号 : 5190-3192

供給者/ 製造者 : 会社名 アジレント・テクノロジー株式会社

住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

電話番号 +81-42-660-3111

緊急連絡電話番号(受付時間) : CHEMTREC®: 0800-300-5842

化学製品の推奨される用途 : 分析化学。
リチウム電池
この部品番号はで含まれています: 5191-5613, 5191-5614, 5191-5615, 5191-5616

使用上の制限 : 情報なし。

2. 危険有害性の要約

この商品は、適切な条件下で、使用上の指示に従って使用すれば、健康上有害にはなりません。物質または混合物は、商品の中ではカプセル化されています。製品の使用上の指示に従わずに商品を使用したり処理したりした結果放出された場合にのみ、健康上および安全上有害になる可能性があります。

化学品のGHS 分類

H252	自己発熱性化学品 - 区分2
H314	皮膚腐食性 - 区分1A
H318	眼に対する重篤な損傷 - 区分1
H361	生殖毒性 - 区分2
H373	特定標的臓器毒性(反復ばく露) - 区分2

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H252 - 大量の場合, 自己発熱: 火災のおそれ
H314 - 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H361 - 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
H373 - 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (骨、歯)

注意書き

安全対策 : P201 - 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 - 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P280 - 保護手袋, 保護衣及び保護眼鏡又は保護面を着用すること。
P235 - 涼しいところに置くこと。
P260 - 粉じんを吸入しないこと。
P264 - 取扱い後はよく洗うこと。

応急措置 : P308 + P313 - ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察又は手当てを受けること。
P304 + P340, P310 - 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し, 呼吸しやすい姿勢で休息させること。 ただちに医師に連絡すること。
P301 + P310, P330, P331 - 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P303 + P361 + P353, P310 - 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。 ただちに医師に連絡すること。
P363 - 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
P305 + P351 + P338, P310 - 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ただちに医師に連絡すること。

2. 危険有害性の要約

保管 : P405 – 施錠して保管すること。
P410 – 日光から遮断すること。
P413 – 4.5kg/9.9lbs 以上の大量品は，37.7℃/100℉ 以下の温度で保管すること。
P407 – 積荷又はパレット間に隙間をあけること。
P420 – 隔離して保管すること。

廃棄 : P501 – 内容物及び容器を市町村条例、都道府県条例、国内法令及び国際条約の規定に従って廃棄すること。

補足的なラベル要素 : 飲み込まないこと。 取扱い後はよく洗うこと。

その他の危険有害性 : 消化管に重度の炎症を引き起こす。

3. 組成及び成分情報

この商品は、適切な条件下で、使用上の指示に従って使用すれば、健康上有害にはなりません。物質または混合物は、商品の中ではカプセル化されています。製品の使用上の指示に従わずに商品を使用したり処理したりした結果放出された場合にのみ、健康上および安全上有害になる可能性があります。

化学物質 混合物の区別 : 混合物（商品内でカプセル化）

化学名又は一般名	含有量(%)	識別子	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
アルミニウム	≤10	CAS: 7429-90-5	情報なし。	情報なし。
2－オキソー1，3－ジオキソラン	≤10	CAS: 96-49-1	5-523	(5)-523
炭酸ジメチル	≤10	CAS: 616-38-6	2-2853	(2)-2853
ヘキサフルオリドリン酸(1－)リチウム	≤10	CAS: 21324-40-3	(1)-326;(1)-1136	(1)-326;(1)-1136
炭酸＝エチル＝メチル	≤10	CAS: 623-53-0	2-3698	2-(7)-294

4. 応急措置

吸入 : 直ちに医師の診断を受ける。 医師に連絡する。 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。 呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。 意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

皮膚に付着した場合 : 直ちに医師の診断を受ける。 医師に連絡する。 石鹸と水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。 少なくとも10分間洗い流し続ける。 化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。 衣類は、再着用の前に洗濯する。 靴は再使用前に十分に洗浄する。

眼に入った場合 : 直ちに医師の診断を受ける。 医師に連絡する。 すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 少なくとも10分間洗い流し続ける。 化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。

飲み込んだ場合 : 直ちに医師の診断を受ける。 医師に連絡する。 水で口を洗浄する。 入歯をしている場合ははずす。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。 化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。 意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。 意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

予想される急性健康影響

皮膚に付着した場合 : 重度のやけどを引き起こす。

眼に入った場合 : 重篤な眼の損傷

飲み込んだ場合 : 消化管に対して極めて腐食性。 重度のやけどを引き起こす。

4. 応急措置

過剰にばく露した場合の徴候症状

吸入 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
胎児体重の減少
子宮内胎児死亡の増加
骨格の変形

皮膚に付着した場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
痛み及び刺激
充血
水ぶくれになることがある
胎児体重の減少
子宮内胎児死亡の増加
骨格の変形

眼に入った場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
痛み
流涙
充血

飲み込んだ場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
胃痛
胎児体重の減少
子宮内胎児死亡の増加
骨格の変形

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。 汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

火災時の特有の危険有害性 : 大量の場合、自己発熱する物質。 引火のおそれあり。

有害な熱分解生成物 : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある:
二酸化炭素
一酸化炭素
燐酸化物
ハロゲン化合物
金属酸化物

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

備考 : 過度の熱を避けなさい。熱あるいは炎に暴露すると可燃性になります。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 粉じんを吸入しないこと。 適切な個人保護装置を着用する。 十分な換気を行う。 換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。

緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

6. 漏出時の措置

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出区域から容器を移動する。 粉塵の発生を避けること。 乾燥状態で掃かないこと。 粉塵をHEPAフィルター付きの器具で吸い取り、ラベルが貼られた密栓付きの廃棄物用容器に入れること。 漏洩物は指定された、ラベルの貼られた廃棄物用容器に入れること。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。 暴露を避けること－使用前に取扱説明書を入手すること。 妊娠中は暴露を避ける。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 眼、皮膚および衣類に触れないようにする。 摂取してはならない。 当物質の通常の取り扱い中に呼吸器官への有害危険性が存在する場合は、必ず適切な換気装置を使用するか、あるいは適切な呼吸用保護具を着用する。 使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。 容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある。 容器を再利用してはならない。

衛生対策 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。 隔離され認定された場所に貯蔵する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 4.5kg/9.9lbs 以上の大量品は, 37.7℃/100℉ 以下の温度で保管すること。 施錠して保管すること。 あらゆる発火源を除去する。 他の物質から離して保管すること。 積荷又はパレット間に隙間をあけること。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

この商品に含まれる有害な成分はカプセル化されているため、吸い込む、飲み込む、皮膚への付着、目に入るなどによる暴露のリスクは、最小限に抑えられています。

設備対策 : この製品に関連する一次的あるいは二次的リスクを管理するために、技術的な管理対策が必要になる可能性がある。 工程の密閉化、局所排気装置の使用あるいはその他の技術的対策により、空気中の汚染物質に対する労働者のばく露を、すべての推奨又は法定ばく露限界値以下に保つ。 防爆型換気装置を使用する。

ばく露限界

化学名又は一般名	ばく露限界値
アルミニウム	**日本産業衛生学会 (日本, 9/2025) [第1種粉塵(ろう石・葉ろう石, アルミニウム, アルミナ, 珪藻土, 硫化鉱, 硫化焼鉱, ベントナイト, カオリナイト, 活性炭, 黒鉛)]** OEL-M 8 時間: 2 mg/m³. 形: 総粉塵 (第 1 種粉塵). OEL-M 8 時間: 0.5 mg/m³. 形: 吸入性粉塵 (第 1 種粉塵). **労働安全衛生法 (日本, 12/2025) [土石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉じん]** 管理濃度 8 時間: 3 / (1.19 x %SiO_2 + 1) mg/m³. 形: 粉塵.

生物学的曝露指数

曝露指数は不明です。

衛生対策 : 該当しない。

保護具

呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

8. ばく露防止及び保護措置

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。 手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。 あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。 いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。

眼、顔面の保護具 : リスクアセスメントの結果、必要とされた場合は、液体飛まつ、ミスト、ガスあるいは粉じんへのばく露をさけるため、承認基準に適合する安全眼鏡を着用すること。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 化学物質用飛沫防止ゴーグルおよび/またはフェースシールド 吸入危険有害性が存在する場合には、代わりにフルフェース呼吸保護具が必要な場合もある。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。

この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

物理状態 : 固体 [リチウム電池]

色 : 情報なし。

臭い : 無臭。

融点／凝固点 : 情報なし。

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 情報なし。

可燃性 : 次の物質および条件の存在下で引火性: 裸火、火花、および放電 および heat。
過度の熱を避けなさい。熱あるいは炎に暴露すると可燃性になります。

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 該当しない

引火点 : 密閉式: 37.8 から 93.3℃ (100 から 199.9℉)

自然発火点 : 該当しない

分解温度 : 情報なし。

pH : 情報なし。

粘度 : 動的 (室温): 情報なし。
動粘性率 (室温): 情報なし。
動粘性率 (40℃ (104℉)): 情報なし。

溶解度 :

メディア	結果
水	不溶性

n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない

蒸気圧 : 情報なし。

又は相対密度 : 情報なし。

相対ガス密度 : 該当しない

粒子特性

中央粒径値 : 情報なし。

その他のデータ

物理化学的コメント : 点火温度: >220℃

臭いのしきい値 : 情報なし。

蒸発速度 : 情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品は、エネルギー供給が無い空気との反応により、自己発熱し、大量の場合や長期間の反応後には発火する傾向がある。 体積27m³の自然発火温度は ≤ 50℃である。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 特定の貯蔵または使用条件において危険有害性反応または不安定性を生じることがある。
条件には次のものを含む場合がある:
バルク保管中における空気との長時間の接触
反応には次のものを含む場合がある:
火災を引き起こすリスク
自然発火性

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	
2ーオキソー1，3ージオキソラン	ラット - 経口 - LD50	10 g/kg
	ラット - オス、メス - 経皮 - LD50	>2000 mg/kg
炭酸ジメチル	ラット - 経口 - LD50	13 g/kg
	ウサギ - 経皮 - LD50	>5 g/kg
ヘキサフルオリドリン酸(1ー)リチウム	ラット - メス - 経口 - LD50	200 mg/kg
炭酸＝エチル＝メチル	ラット - オス、メス - 経口 - LD50	>5000 mg/kg

急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (気体) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (粉じん／ミスト) (mg/l)
Lithium Ion Battery Pack	2439.0	26875	N/A	N/A	N/A
2ーオキソー1，3ージオキソラン	500	2500	N/A	N/A	N/A
炭酸ジメチル	13000	N/A	N/A	N/A	N/A
ヘキサフルオリドリン酸(1ー)リチウム	200	N/A	N/A	N/A	N/A

結論/要約[製品] : 情報なし。

皮膚腐食性／刺激性

製品 / 成分の名称	結果	
2ーオキソー1，3ージオキソラン	ウサギ - 皮膚 - 軽度の刺激	供試量/濃度: 660 mg

結論/要約[製品] : 情報なし。

深刻な眼の損傷/眼の炎症

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器の腐食/刺激

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚

結論/要約[製品] : 情報なし。

11. 有害性情報

呼吸器系

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖細胞の変異原性

結論/要約[製品] : 情報なし。

発がん性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

特定標的臓器／全身毒性(単回ばく露)

情報なし。

特定標的臓器／全身毒性(反復ばく露)

製品 / 成分の名称	結果
2ーオキソー1，3ージオキソラン	特定標的臓器毒性(反復ばく露)(腎臓)(経口) - 区分2
ヘキサフルオリドリン酸(1ー)リチウム	特定標的臓器毒性(反復ばく露)(骨、歯) - 区分1

誤えん有害性

情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品 / 成分の名称	結果		
アルミニウム	慢性 - NOEC	9 mg/l [3 日]	水生植物 - Coontail - Ceratophyllum demersum
2ーオキソー1，3ージオキソラン	急性 - LC50 - 淡水	53000 mg/l [96 時間]	魚類 - 稚魚
	急性 - EC50 - 淡水	>100 mg/l [72 時間]	藻類 - 藻類 - Pseudokirchneriella subcapitata
	急性 - NOEC - 淡水	100 mg/l [72 時間]	藻類 - 藻類 - Pseudokirchneriella subcapitata
炭酸ジメチル	急性 - EC50 - 淡水	>100 mg/l [48 時間]	ミジンコ類 - ミジンコ類 - Daphnia magna
	急性 - LC50 - 淡水	≥100 mg/l [96 時間]	魚類 - Danio rerio
	急性 - NOEC - 淡水	≥100 mg/l [96 時間]	魚類 - Danio rerio
	慢性 - NOEC - 淡水	25 mg/l [21 日]	ミジンコ類 - ミジンコ類 - Dapnia magna
	急性 - EC50 - 淡水	>100 mg/l [72 時間]	藻類 - 藻類 - Pseudokirchneriella subcapitata
	急性 - NOEC - 淡水	>100 mg/l [72 時間]	藻類 - 藻類 - Pseudokirchneriella subcapitata
ヘキサフルオリドリン酸(1ー)リチウム	急性 - LC50 - 淡水	>100 mg/l [48 時間]	ミジンコ類 - Daphnia magna
	急性 - EC50 - 淡水	>100 mg/l [96 時間]	藻類 - 藻類 - Pseudokirchneriella subcapitata
炭酸＝エチル＝メチル	急性 - LC50 - 淡水	>100 mg/l [96 時間]	魚類 - Oncorhynchus mykiss
	急性 - NOEC - 淡水	100 mg/l [96 時間]	魚類 - Oncorhynchus mykiss
	急性 - NOEC - 淡水	100 mg/l [48 時間]	ミジンコ類 - Daphnia magna
	急性 - LC50 - 淡水	>100 mg/l [48 時間]	ミジンコ類 - Daphnia

12. 環境影響情報

	急性 - EC50 - 淡水	>62 mg/l [72 時間]	magna 藻類 - Desmodesmus subspicatus
	急性 - NOEC - 淡水	62 mg/l [72 時間]	藻類 - Desmodesmus subspicatus

結論/要約[製品] : 情報なし。

残留性・分解性

製品 / 成分の名称	結果		
2ーオキソー1，3ージオキソラン	OECD [Ready Biodegradability - CO2 Evolution Test]	98.5% [28 日] - 容易	好気性
炭酸ジメチル	OECD 301C [Ready Biodegradability - 修正 MITIテスト(I)]	86% [28 日] - 容易	好気性 - 188 mg/l

結論/要約[製品] : 情報なし。

製品 / 成分の名称	水中における半減期	光分解	生分解性
2ーオキソー1，3ージオキソラン	-	-	容易
炭酸ジメチル	-	-	容易
炭酸＝エチル＝メチル	-	-	容易

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	$LogP_{ow}$	BCF	可能性
2ーオキソー1，3ージオキソラン	0.11	-	低
炭酸ジメチル	0.354	-	低
炭酸＝エチル＝メチル	0.972	-	低

土壌中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

この安全性データシートは、この商品に含まれるカプセル化された物質または混合物に基づいて記述されています。この商品に含まれる有害な成分はカプセル化されているため、吸い込む、飲み込む、皮膚への付着、目に入るなどによる暴露のリスクは、最小限に抑えられています。

	UN	IMDG	IATA
国連番号	UN3480	UN3480	UN3480
品名	LITHIUM ION BATTERIES	LITHIUM ION BATTERIES	Lithium ion batteries

14. 輸送上の注意

国連分類 クラス	9 	9 	9 
容器等級			
環境有害性	非該当。	非該当。	非該当。

追加情報

リチウムバッテリーは、セル内のリチウム少量のためにIATAの危険物規則書の対象とされていません。 IATAの梱包指示968、パート1を参照してください。

UN : **特別条項** 188, 230, 310, 348, 376, 377, 384, 387

IMDG : **緊急時スケジュール** F-A, S-I
特別条項 188, 230, 310, 348, 376, 377, 384, 387

IATA : **数量制限** 旅客および貨物輸送機: 禁じられている。梱包に関する指示: Forbidden。 貨物専用輸送機: 梱包に関する指示: See 965。 数量制限ー旅客機: 禁じられている。梱包に関する指示: Forbidden。
特別条項 A88, A99, A154, A183, A201, A213, A331, A334, A802

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送**: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	含有量(%)	発効日	整理番号	
炭酸ジメチル	≤10	1-4-2026 から	2-1188	*
ヘキサフルオリドリン酸(1ー)リチウム	≤10	1-4-2025 から	29	*

*濃度が範囲で示されているのは秘密保持のためである。

名称等を通知すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	含有量(%)	発効日	整理番号	
アルミニウム	≤10	1-4-2025 から	4	*
炭酸ジメチル	≤10	1-4-2026 から	2-1188	*
ヘキサフルオリドリン酸(1ー)リチウム	≤10	1-4-2025 から	29	*

*濃度が範囲で示されているのは秘密保持のためである。

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質(労働安全衛生規則 第594条の2 第1項)

非該当

化学物質審査規制法

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法

非該当

道路法 : 適用

インベントリリスト

日本 : **日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質)**: 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
日本インベントリー(ISHL): 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

米国 : すべての構成成分がアクティブか、または免除されます。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 27/08/2026

前作成日 : 12/01/2023

バージョン : 3

略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA =国際航空運送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
IMO = 国際海事機関
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。("Marpol" = 海洋汚染)
N/A = データなし
SGG = 隔離グループ
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
自己発熱性化学品 - 区分2	専門家の判断
皮膚腐食性 - 区分1A	算出方法
眼に対する重篤な損傷 - 区分1	算出方法
生殖毒性 - 区分2	算出方法
特定標的臓器毒性(反復ばく露) - 区分2	算出方法

参照 : 情報なし。

前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。